

# バク通信

## 一五三三号

令和四年一月十日発行  
社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

ゆめサポート・バク

福山市神辺町東中条7301-6  
TEL(084)9600-2256  
FAX(084)9600-2258

### 『年頭の挨拶』

管理者 田頭 聖司

新年明けましておめでとございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。おかげ様で今年も無事に新しい年を迎えることができました。

新型コロナウイルスの感染拡大からほぼ2年、いまだ出口の見えない状況は続いておりますが、利用者・保護者の方お一人お一人と、また、地域の皆様と「笑顔あふれる関係」を大切に取組んでまいりました。

福祉の発展には戦争や飢餓といった天災などが深くかかわってきた歴史があります。今の時代だからこそ、法人理念である「明日を信じ限りなき前進をしよう」という開拓者精神を胸に何事にも前向きに取り組んでいくことが私たちの使命だと思っております。

今年は、引き続き感染症によって大きく様変わりした社会の中で笑顔を引き出す関りを沢山生み出せるよう、目の前の課題にひとつひとつ着実に取り組んでいきたいと思っております。

新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。



### 『第16回木之内もちつき大会』

サービス管理責任者 松岡 肖幸

12月18日土曜日に、もちつき大会が開催されました。例年であれば、地域の皆様、保護者の皆様にお声をかけさせて頂いて行事を行っていましたが、一昨年より新型コロナウイルスが流行している為、規模を縮小して利用者・職員のみでの開催となっております。

当日の朝は、寒さが厳しくバクがある東中条の地は2〜3cmの積雪があり、もちつきの準備をしながら雪だるまづくりをして寒さの中にも楽しみをみつけつつの準備となりました。

もちつき大会は午前・午後の部に分かれており、午前の部は、5名〜6名のグループに分かれて餅に見立てた小麦粉粘土を臼と杵でつきました。少しやわらかめに作った小麦粉粘土は本物のお餅さながらに粘り気があり、少し杵に吸い付くような感触でリアルなもちつきを再現できたのではないかと思います。「よいしょー」と掛け声をかけながら、各グループ楽しそうにもちつきをされている姿が印象的でした。疑似もちつきをした後は、グループ毎に事前に準備をしていたあんこ餅やきなこ餅の試食をおこない、皆さんおいしそうに食べられていました。

午後の部は、利用者や職員による桃太郎の劇、ビンゴゲーム、勤続20年表彰を行いました。桃太郎の劇は、職員が台本を編集し、笑い、涙ありのハートフルストーリーとなっており、笑いが絶えない時間となりました。

ビンゴゲームは、いつものゲームとは違い、数字を有名人やラクターや職員の写真に変更し、何が当たった利用者さんに分かりやすくなったゲームとなりました。その為、「次は〇〇さん出して」と皆さんから声が上がっており、こちらも盛り上がりを見せておりました。

最後に勤続20年表彰を行っています。今年度は3名の方が表彰され、少し緊張気味の方もおられましたが、賞状を受け取り一言「ありがとうございます」と言葉を述べられると嬉しそうなお顔を浮かべながらガッツポーズをされていたのが印象的でした。3名の方おめでとうございます。



▲永年勤続者表彰！お疲れ様でした！

▲演技にも力が入りました！

▲美味しいお餅でにっこり

### 『自治会 クリスマス会の様子』

生活支援員 若井 将史

12月25日は、バク自治会2021年最後の会でした。今回はクリスマスの日が土曜開所日でした、せっかくなので、イブを終えたサンタさんに遊びに来て貰いました。利用者さんの質問の中に「サンタさんは、1人しかいないの？」と尋ねる方もおられました。

正解は、サンタさんは世界中に、プレゼントを配達するの沢山いるのです。そこで、バクにもサンタさんに来てもらいました。

今回はプレゼントや食べ物、クリスマススイブで買っているであろうから、サンタさんと一緒に遊ぶ計画をして、手品・バルーンアート・イントロクイズに挑戦しました。手品では3名の職員がサンタさんと皆さんに見て貰おうと一生懸命手品を練習し披露しました。スプーン曲げを披露すると、皆さん不思議そうにされたり、拍手をしたりとても盛り上がりしていました。イントロクイズでは、利用者さんもノリノリで参加されていました。中には、曲名ではなくドラマのタイトルを答える等、間違ってしまうこともありました。とても楽しそうにされていました。バルーンアートでは、可愛い動物等を作ってもらい、プレゼントされると大事に持って帰ると言われる方も多数おられました。行事の最後には、「また来年も遊びに来てね」とサンタさんと約束をしてお別れをしました。



▲おもしろサンタも登場！手品ショーも盛り上がりました！

『きょうさん物販』

サービスマネジメント 松岡 尚幸

療育班では、夏・冬・そしてバレンタインの年3回きょうさん物販販売を行っています。この度は、冬の物販販売の様子をご紹介します。

まずは、カタログ作りから始めます。食品とグッズのカタログとして注文書を重ねながら1セットにします。

次に商品を発注し、届いた商品を療育班のみんなで、仕分けし、「ご注文いただいた商品を袋に詰めてまいります。その後は、領収書に印鑑を押します。

納品の準備が終わると、お客様に商品をお渡しするまでがお仕事です。手渡しができるお客様には、利用者の方から直接、感謝の気持ちを込めて商品をお渡ししています。

物販販売の中にも様々な仕事があり、この作業も利用者の方が携わり、作業を細分化することで、この利用者の方も役割持つことができます。

次は2月バレンタインの販売を控えております。これからまた療育班みんなで準備を行ってまいります。そして、冬のきょうさん物販販売に協力くださった皆様ありがとうございました。無事に目標であった15万円の売り上げをクリアすることができました。この販売で得た利益は、利用者の皆さんの工賃になります。今後とも、どうぞご協力をお願い致します。



▲商品を袋に入れ、お客さんに届けます！ありがとうございます

『中国新聞に記事が載りました！』

目標工賃達成指導員 行廣 七海

12月8日(水)、冬のギフト製造真っ只中の時期に、アルコジャーはなんと中国新聞社から取材を受けました。そしてその取材をもとにした新聞記事が12月31日に掲載されていました。

内容は以前ご紹介させていただいた「お酢」を使ったシエラートについてです。お酢とシエラートの意外性をついた商品として紹介されており、年明け早々にみんなで記事を読みました。大々的に写真撮影されていたKさんは「恥ずかしいわー」と話していましたが表情は柔らかく、時間が経つにつれ嬉しそうなお笑顔を浮かべていました。作業の終わりに「ここに記事が載っているよ」と言わんばかりに、アルコジャーの仲間に記事を見せていました。

取材日には緊張している利用者さんや何をしているかわからず不安がっている利用者さんもおられました。記事になると「ああ、あの時のじゃー！」と納得した様子で新聞を見ていました。記事に載ったお酢シエラートは、尾道の飲食店に卸させていただく予定となっています。



◀見て見て！載ってるよ♪

『消防避難訓練』

生活支援員 柴垣 瑞穂

12月24日(金)の午後から避難訓練を実施しました。バクとウエス工場とに分かれての訓練でした。バクの方では、シエラート室からの出火、建物から避難するときは正面玄関は火元の近くで使えない！と例年とは少し違った設定で行いました。

しかし利用者さん全員、「火事だあ〜」の叫び声と非常ベルの音に戸惑うこともなく、職員の誘導のもと避難場所である紅商さんまで落ち着いて移動です。寒い中での実施でしたが怪我もなく全員無事に避難することが出来ました。

ウエス工場では工場裏口付近から出火したとの想定で実施しました。バク同様、職員の声掛けに沿って利用者の皆さんは速やかに避難することが出来ました。

最近では火事や放火のニュースをよく耳にします。実際におこってはならない事ですが万が一にそなえて日頃から訓練を重ね、いざという時のために備えが大切です。でも一番大切なのは火事をおこさない事ですね。私たち一人一人が気を付けていきたいと思えます。



▲皆さん慌てず落ち着いて避難できました！

ゆめサポート・バクの取り扱い商品・作業の一部をご紹介します

1月の予定

8日(土) 土曜開所

29日(土) 土曜開所

十人十色の手作り弁当

毎日食べても飽きのこない家庭の味です。旬の食材を使用しています。



1食からお届けします。(配達エリア内に限ります)

480円(税込)

草刈り承ります!

ご相談  
お見積り  
無料

作業員一人 1時間 1,200円より(税別)



お弁当の注文・作業のお問い合わせは

→ 084-960-2256

